

KAGA ELECTRONICS
CO., LTD.

2021年3月期（第53期） 第2四半期決算説明会資料

加賀電子株式会社
2020年11月26日

目次

- **2021年3月期第2四半期決算概要** P-2～

2021年3月期第2四半期サマリー
業績ハイライト/M&Aの影響/セグメント別概況
バランスシート/キャッシュフロー

- **経営トピックス** P-27～

新型コロナウイルス感染拡大への対応
旭東電気のグループ会社化について
PMIの進捗状況
・・・富士通エレクトロニクス・加賀EMS十和田・エクセル
サステナビリティ（SDGs）の取り組み

- **参考情報** P-36～

2021年3月期 第2四半期決算概要

加賀電子株式会社

常務取締役 川村 英治

2021年3月期第2四半期 サマリー

2021年3月期 第2四半期実績	<ul style="list-style-type: none">● 売上高は、コロナ禍の中、テレワーク拡大でPC販売が伸びるも、大口取引先との商権・商流の変更による影響大きく受けて減収。● 減収にともない販管費縮減に努めるも、営業利益・経常利益ともに減益。● 当期純利益は、企業買収に伴う「負ののれん益」計上により増益。				
主なセグメントの 概況	<table><tr><td data-bbox="407 494 653 793">電子部品</td><td data-bbox="653 494 1887 793"><ul style="list-style-type: none">・ 部品販売ビジネスは、本年4月からエクセルを新たに連結化するも、富士通エレクトロニクスにおいてCypress社代理店権の解消により売上を大きく落とし、減収。・ EMSビジネスは、医療向けは堅調も、車載向けや空調向けはコロナ拡大による海外工場の一部操業休止等の影響を受けて減収。</td></tr><tr><td data-bbox="407 793 653 926">情報機器</td><td data-bbox="653 793 1887 926"><ul style="list-style-type: none">・ PC販売ビジネスは、テレワーク・オンライン授業の拡大により増収。・ 住宅向け家電販売ビジネスは減収が続く。</td></tr></table>	電子部品	<ul style="list-style-type: none">・ 部品販売ビジネスは、本年4月からエクセルを新たに連結化するも、富士通エレクトロニクスにおいてCypress社代理店権の解消により売上を大きく落とし、減収。・ EMSビジネスは、医療向けは堅調も、車載向けや空調向けはコロナ拡大による海外工場の一部操業休止等の影響を受けて減収。	情報機器	<ul style="list-style-type: none">・ PC販売ビジネスは、テレワーク・オンライン授業の拡大により増収。・ 住宅向け家電販売ビジネスは減収が続く。
電子部品	<ul style="list-style-type: none">・ 部品販売ビジネスは、本年4月からエクセルを新たに連結化するも、富士通エレクトロニクスにおいてCypress社代理店権の解消により売上を大きく落とし、減収。・ EMSビジネスは、医療向けは堅調も、車載向けや空調向けはコロナ拡大による海外工場の一部操業休止等の影響を受けて減収。				
情報機器	<ul style="list-style-type: none">・ PC販売ビジネスは、テレワーク・オンライン授業の拡大により増収。・ 住宅向け家電販売ビジネスは減収が続く。				
2021年3月期 業績予想	<ul style="list-style-type: none">● 一部製造業ではコロナ影響から徐々に回復の兆しあり、加えて、社内計画比で上振れ進捗した2Q実績を踏まえて、前回予想（8月6日公表）から、売上高・営業利益・経常利益を上方修正。当期純利益は先行きを慎重にみて据え置く。				
株主還元	<ul style="list-style-type: none">● 中間配当は、期初予想の通り、1株当たり30円を実施。● 期末配当は、現時点では期初予想の1株当たり30円を据え置く。				

2021年3月期第2四半期 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2020/3期 2Q実績		2021/3期 2Q実績		前年比	2021/3期 業績予想		進捗率
売上高	230,630		188,859		▲18.1%	400,000		47.2%
売上総利益	23,771	10.3%	21,641	11.5%	▲9.0%	—	—	—
販売費及び一般管理費	18,531	8.0%	17,206	9.1%	▲7.1%	—	—	—
営業利益	5,239	2.3%	4,434	2.3%	▲15.4%	5,000	1.3%	88.7%
経常利益	5,546	2.4%	4,338	2.3%	▲21.8%	4,500	1.1%	96.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,502	1.5%	10,772	5.7%	207.3%	10,000	2.5%	107.7%
EPS	127.62	—	392.30	—	—	364.18	—	—
為替レート	米ドル	108.63	—	106.92	—	▲1.71	—	—

2021年3月期第2四半期 セグメント別業績

(単位：百万円)

		2020/3期 2Q実績		2021/3期 2Q実績		前年比
電子部品	売上高	199,818		156,887		▲21.5%
	セグメント利益	4,238	2.1%	3,083	2.0%	▲27.3%
情報機器	売上高	19,968		23,192		16.1%
	セグメント利益	618	3.1%	1,160	5.0%	87.8%
ソフトウェア	売上高	1,332		1,274		▲4.3%
	セグメント利益	46	3.5%	86	6.8%	84.0%
その他	売上高	9,510		7,505		▲21.1%
	セグメント利益	259	2.7%	36	0.5%	▲86.1%
合計	売上高	230,630		188,859		▲18.1%
	セグメント利益	5,239	2.3%	4,434	2.3%	▲15.4%

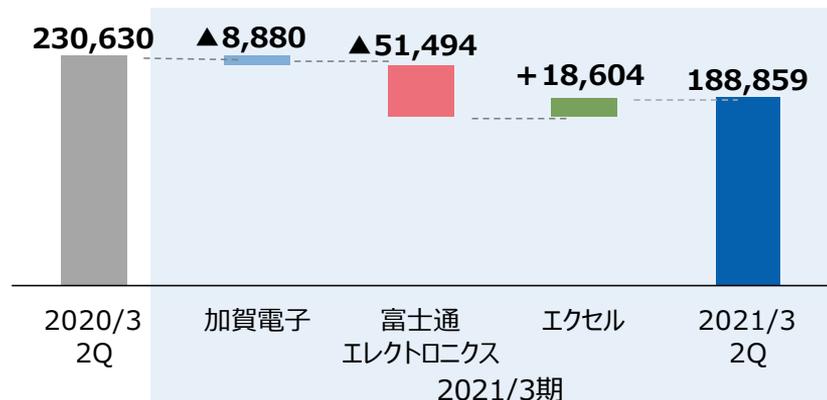
注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

2021年3月期第2四半期 M&Aの影響

(単位：百万円)

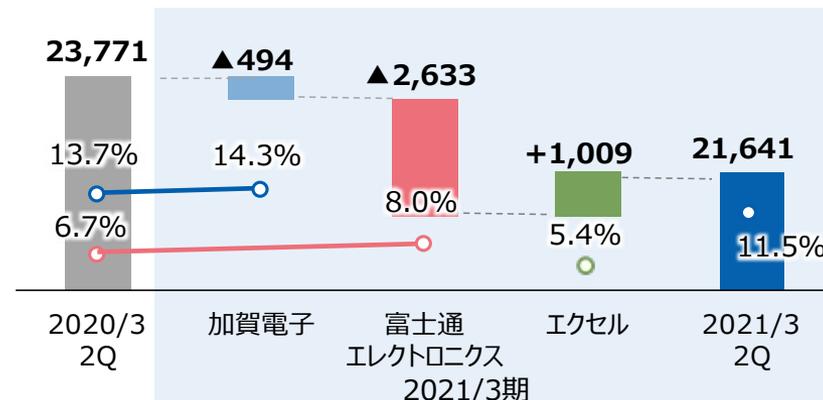
売上高

加賀電子はコロナ影響により減収、富士通エレクトロニクスは大口商権喪失により大幅減。エクセルは1Qより連結化



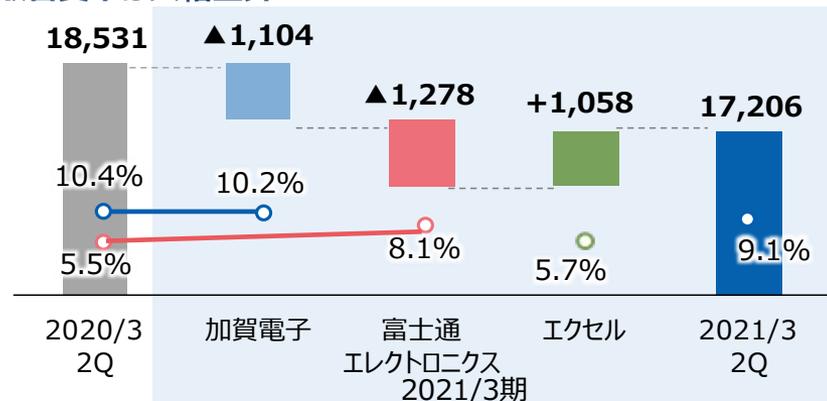
売上総利益 / 売上総利益率

加賀電子、富士通エレクトロニクスともに減益も、販売ミックスが良化し粗利率は改善



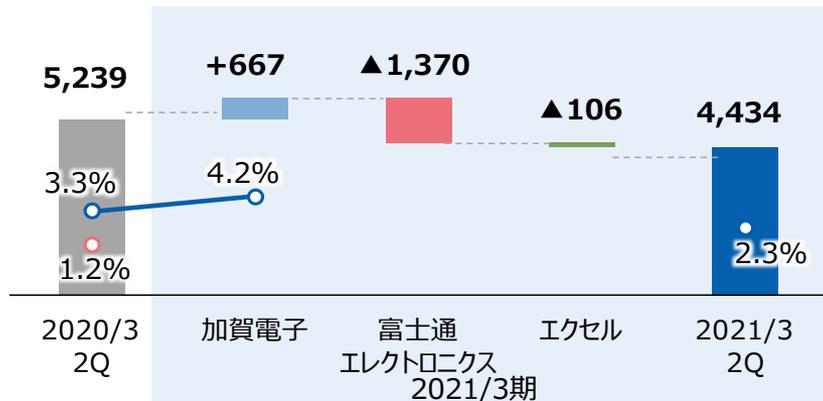
販管費 / 販管費率

富士通エレクトロニクスは経費削減に努めるも、減収影響大きく販管費率は大幅上昇



営業利益 / 営業利益率

コロナ禍の中、加賀電子は減収でも増益確保、利益率も改善



2021年3月期第2四半期 会社別業績

(単位：百万円)

		2020/3期 2Q実績		2021/3期 2Q実績		前年比
加賀電子	売上高	119,415		110,535		▲7.4%
	売上総利益	16,347	13.7%	15,853	14.3%	▲3.0%
	営業利益	3,952	3.3%	4,619	4.2%	16.9%
富士通 エレクトロニクス	売上高	111,214		59,720		▲46.3%
	売上総利益	7,418	6.7%	4,784	8.0%	▲35.5%
	営業利益	1,286	1.2%	▲84	▲0.1%	—
エクセル	売上高	—	—	18,604		—
	売上総利益	—	—	1,009	5.4%	—
	営業利益	—	—	▲106	▲0.6%	—
合計	売上高	230,630		188,859		▲18.1%
	売上総利益	23,771	10.3%	21,641	11.5%	▲9.0%
	営業利益	5,239	2.3%	4,434	2.3%	▲15.4%

(注) 売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。

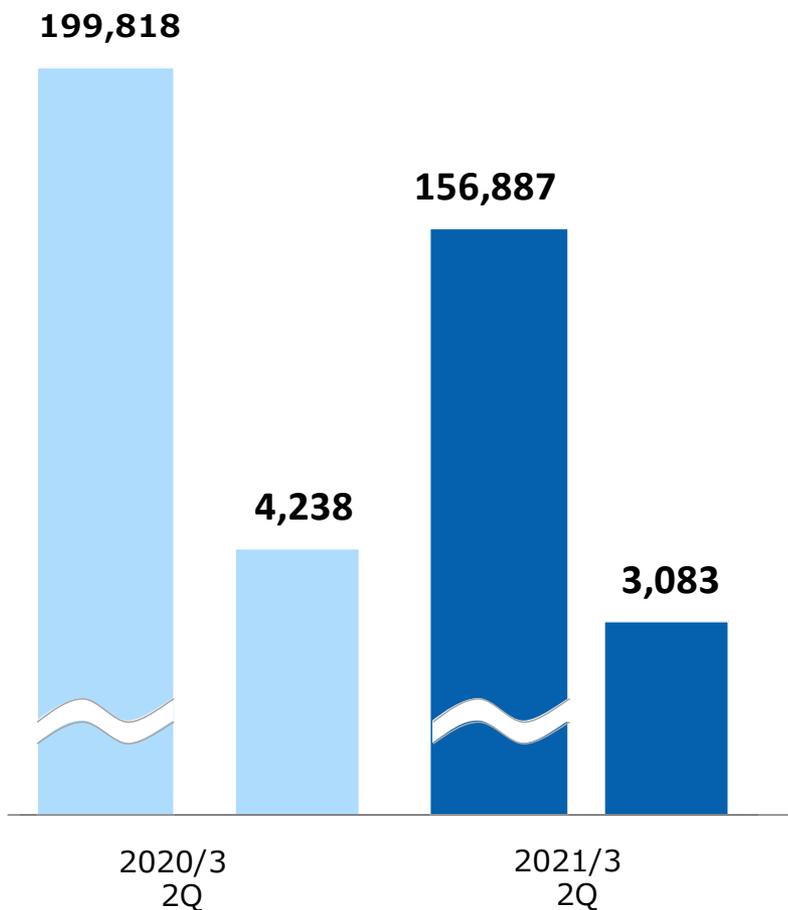
2021年3月期第2四半期：電子部品事業

(単位：百万円)

売上高・セグメント利益

前年比

- 売上高 ▶ ▲42,931百万円 21.5%減
- セグメント利益 ▶ ▲1,155百万円 27.3%減



・部品販売ビジネスは、エクセルのグループ化による増収効果あるも、富士通エレクトロニクスでのCypress社代理店権解消などの影響により減収。

・EMSビジネスは、医療機器向けが堅調に推移するも、車載関連、空調向けは低調に推移。

・新型コロナウイルス感染拡大により、海外工場において一部操業休止や生産調整の影響あり。

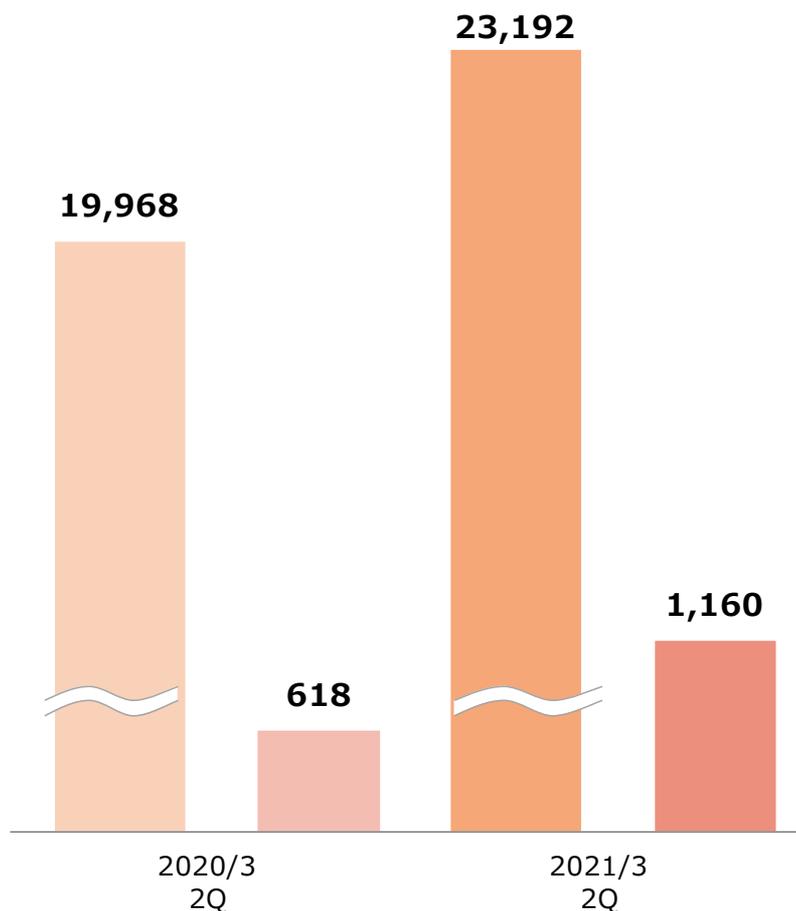


2021年3月期第2四半期：情報機器事業

(単位：百万円)

売上高・セグメント利益

前年比



- 売上高 ▶ **+3,223百万円 16.1%増**
- セグメント利益 ▶ **+542百万円 87.8%増**

・パソコンおよびPC周辺機器販売は、コロナ禍の中、テレワーク・オンライン授業の需要増により家電量販店、学校や教育機関向けに好調。

・住宅向け家電販売ビジネスは低調続く。



2021年3月期第2四半期 業績ハイライト（直近3カ月）

（単位：百万円）

	2020/3期 2Q実績		2021/3期 1Q実績		2021/3期 2Q実績		前年同期比	直前期比
売上高	121,066		84,130		104,729		▲13.5%	24.5%
売上総利益	12,708	10.5%	9,997	11.9%	11,643	11.1%	▲8.4%	16.5%
販売費及び一般管理費	9,319	7.7%	8,341	9.9%	8,864	8.5%	▲4.9%	6.3%
営業利益	3,389	2.8%	1,656	2.0%	2,778	2.7%	▲18.0%	67.8%
経常利益	3,500	2.9%	1,533	1.8%	2,804	2.7%	▲19.9%	82.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,152	1.8%	8,643	10.3%	2,128	2.0%	▲1.1%	▲75.4%
EPS (1株当たり四半期純利益)	78.42	—	314.77	—	77.53	—	—	—

2021年3月期第2四半期 セグメント別業績（直近3カ月）

（単位：百万円）

		2020/3期 2Q実績		2021/3期 1Q実績		2021/3期 2Q実績		前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	105,230		68,196		88,690		▲15.7%	30.1%
	セグメント利益	2,617	2.5%	1,185	1.7%	1,897	2.1%	▲27.5%	60.0%
情報機器	売上高	9,842		12,537		10,654		8.2%	▲15.0%
	セグメント利益	429	4.4%	583	4.7%	577	5.4%	34.6%	▲0.9%
ソフトウェア	売上高	895		491		783		▲12.5%	59.2%
	セグメント利益	108	12.2%	▲44	▲9.1%	131	16.8%	20.5%	—
その他	売上高	5,097		2,904		4,600		▲9.8%	58.4%
	セグメント利益	186	3.7%	▲101	▲3.5%	137	3.0%	▲26.2%	—
合計	売上高	121,066		84,130		104,729		▲13.5%	24.5%
	セグメント利益	3,389	2.8%	1,656	2.0%	2,778	2.7%	▲18.0%	67.8%

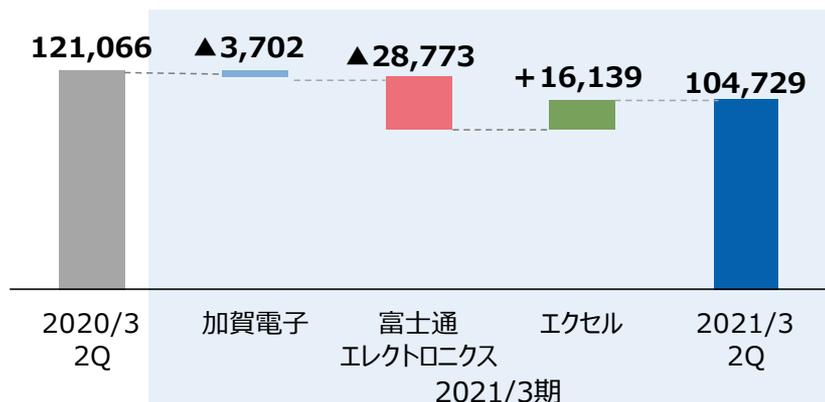
注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

2021年3月期第2四半期 M&Aの影響（直近3ヵ月）

（単位：百万円）

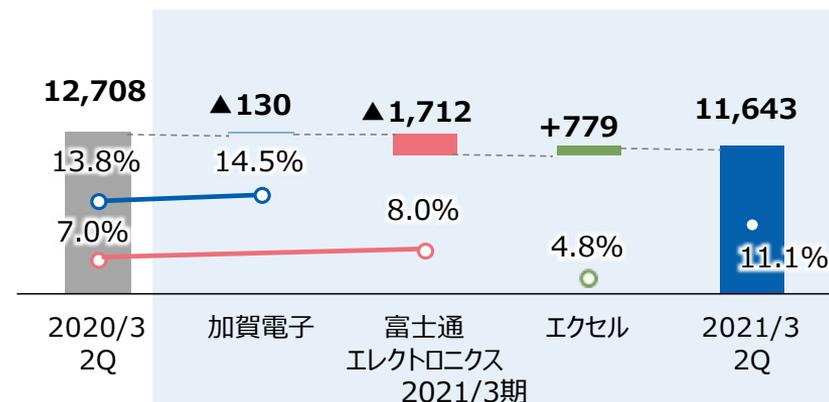
売上高

富士通エレクトロニクスは大口商権喪失により大幅減が続く。



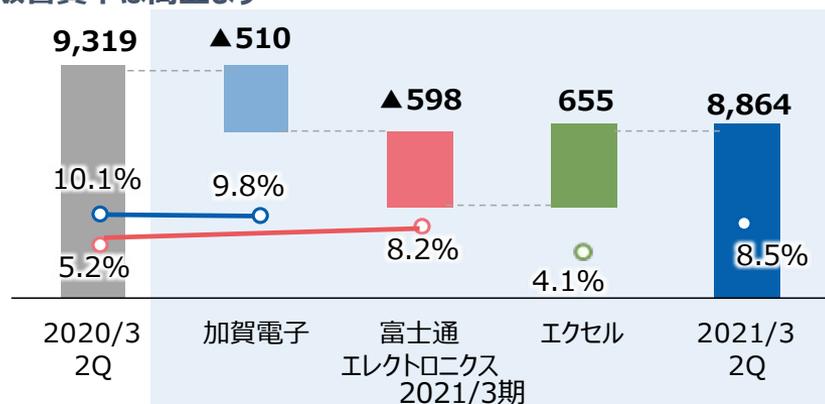
売上総利益 / 売上総利益率

加賀電子はミックス改善で粗利減は限定的



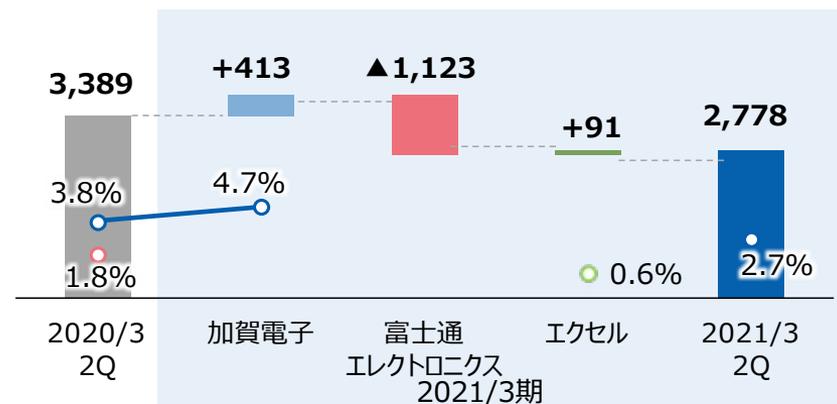
販管費 / 販管費率

富士通エレクトロニクスは経費削減に努めるも、減収影響大きく販管費率は高止まり



営業利益 / 営業利益率

コロナ禍の中、加賀電子は減収でも増益確保、利益率も改善



2021年3月期第2四半期 会社別業績（直近3ヵ月）

（単位：百万円）

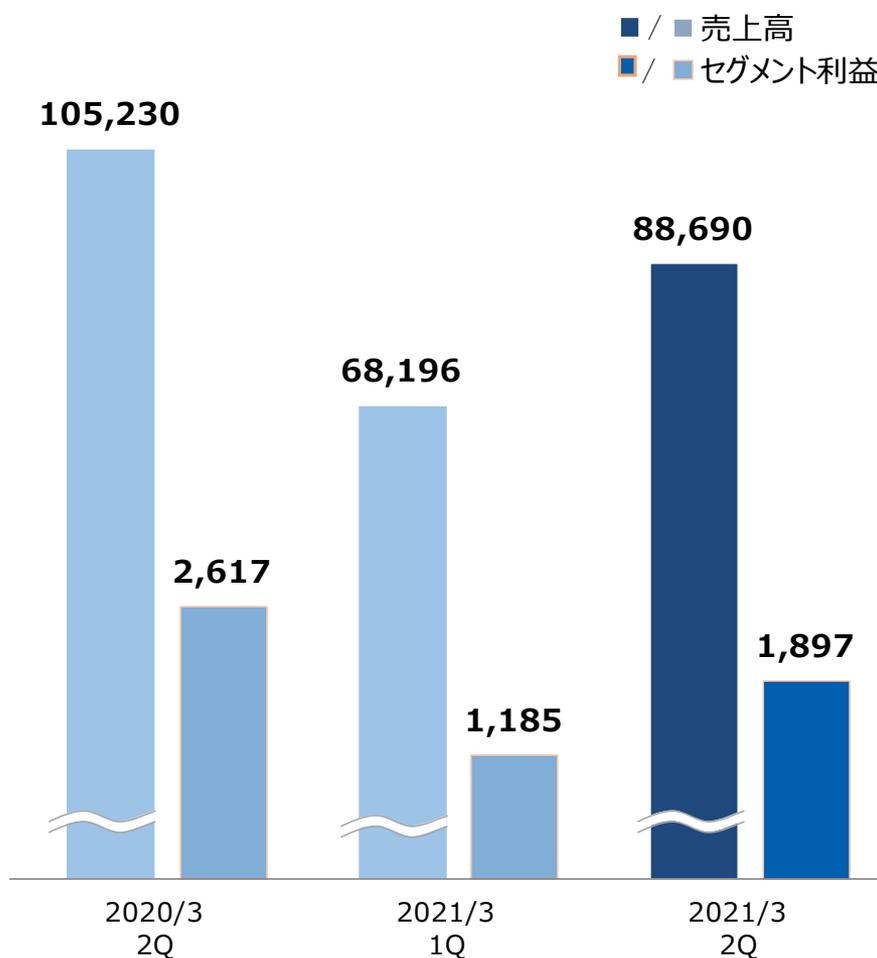
		2020/3期 2Q実績		2021/3期 1Q実績		2021/3期 2Q実績		前年同期比	直前期比
加賀電子	売上高	61,744		52,493		58,041		▲6.0%	10.6%
	売上総利益	8,540	13.8%	7,442	14.2%	8,410	14.5%	▲1.5%	13.0%
	営業利益	2,335	3.8%	1,870	3.6%	2,749	4.7%	17.7%	47.0%
富士通 エレクトロニクス	売上高	59,322		29,172		30,548		▲48.5%	4.7%
	売上総利益	4,168	7.0%	2,328	8.0%	2,455	8.0%	▲41.1%	5.5%
	営業利益	1,057	1.8%	▲18	▲0.1%	▲65	▲0.2%	—	—
エクセル	売上高	—	—	2,464		16,139		—	554.9%
	売上総利益	—	—	230	9.3%	779	4.8%	—	238.6%
	営業利益	—	—	▲198	▲8.0%	91	0.6%	—	—
合計	売上高	121,066		84,130		104,729		▲13.5%	24.5%
	売上総利益	12,708	10.5%	9,997	11.9%	11,643	11.1%	▲8.4%	16.5%
	営業利益	3,389	2.8%	1,656	2.0%	2,778	2.7%	▲18.0%	67.8%

（注）売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。

2021年3月期第2四半期：電子部品事業（直近3ヵ月）

(単位：百万円)

売上高・セグメント利益



前年同期比

- 売上高 ▶ ▲16,539百万円 15.7%減
- セグメント利益 ▶ ▲720百万円 27.5%減

直前期比

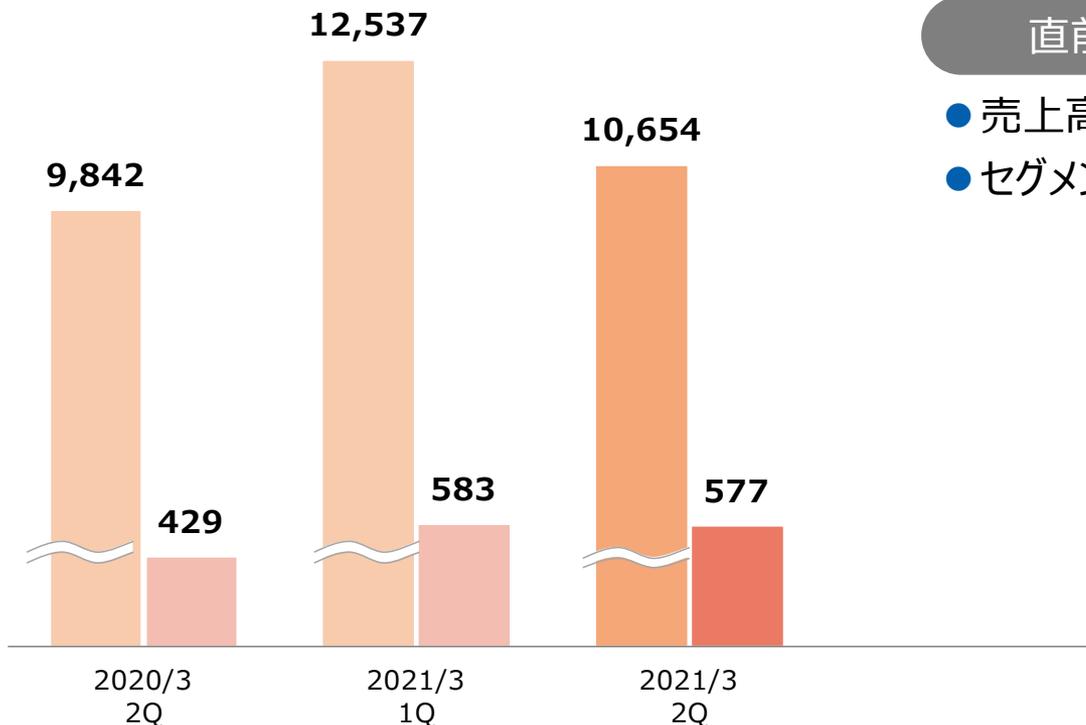
- 売上高 ▶ +20,494百万円 30.1%増
- セグメント利益 ▶ +711百万円 60.0%増

2021年3月期第2四半期：情報機器事業（直近3ヵ月）

(単位：百万円)

売上高・セグメント利益

■ / ■ 売上高
■ / ■ セグメント利益



前年同期比

● 売上高 ▶ **+811**百万円 **8.2%増**
● セグメント利益 ▶ **+148**百万円 **34.6%増**

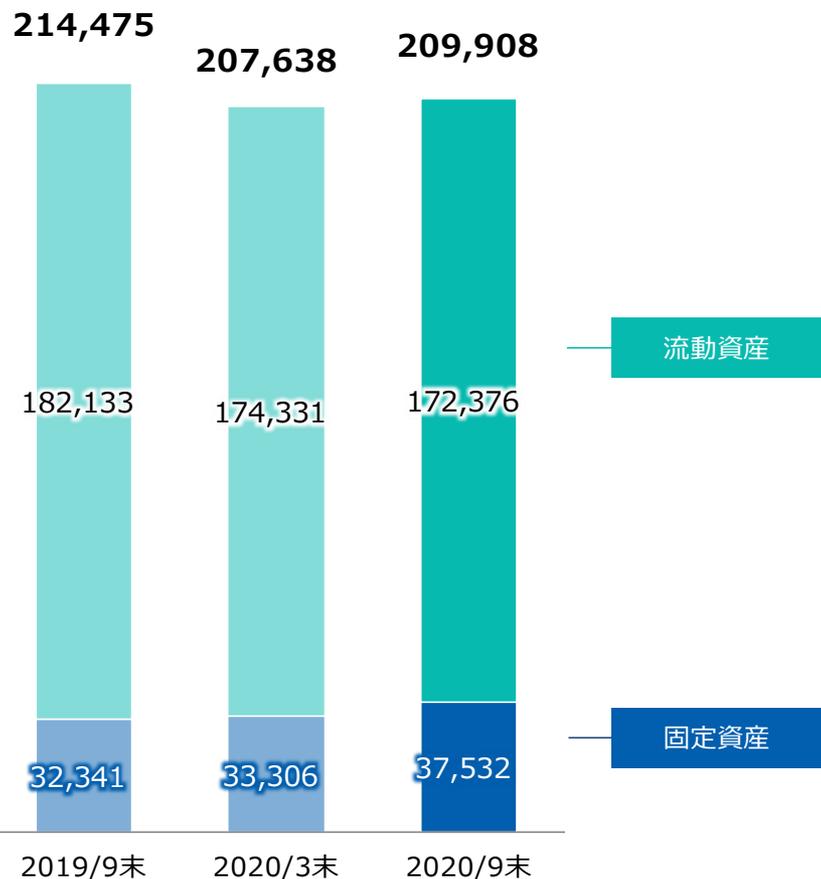
直前期比

● 売上高 ▶ **▲1,882**百万円 **15.0%減**
● セグメント利益 ▶ **▲5**百万円 **0.9%減**

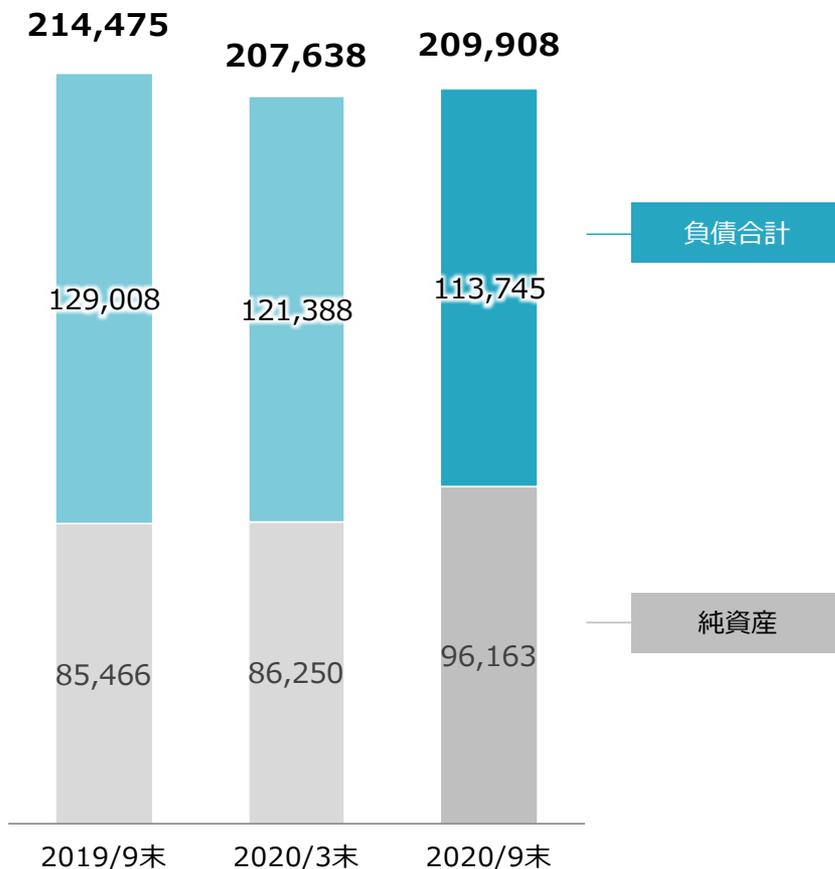
資産/負債・純資産

(単位：百万円)

資産



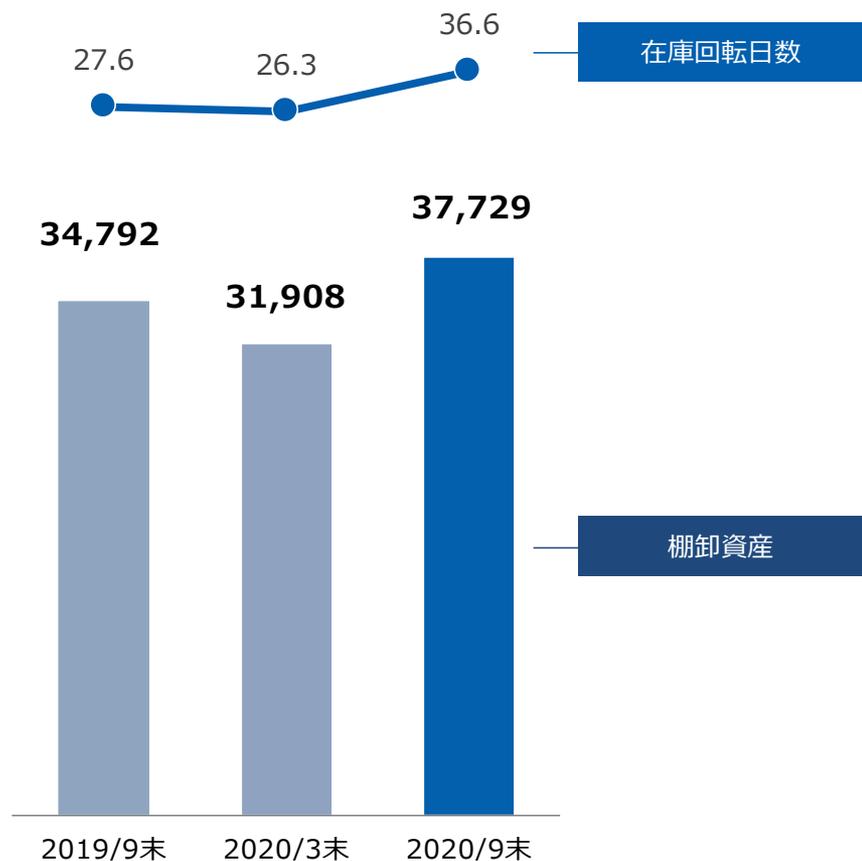
負債・純資産



棚卸資産/売上債権・仕入債務

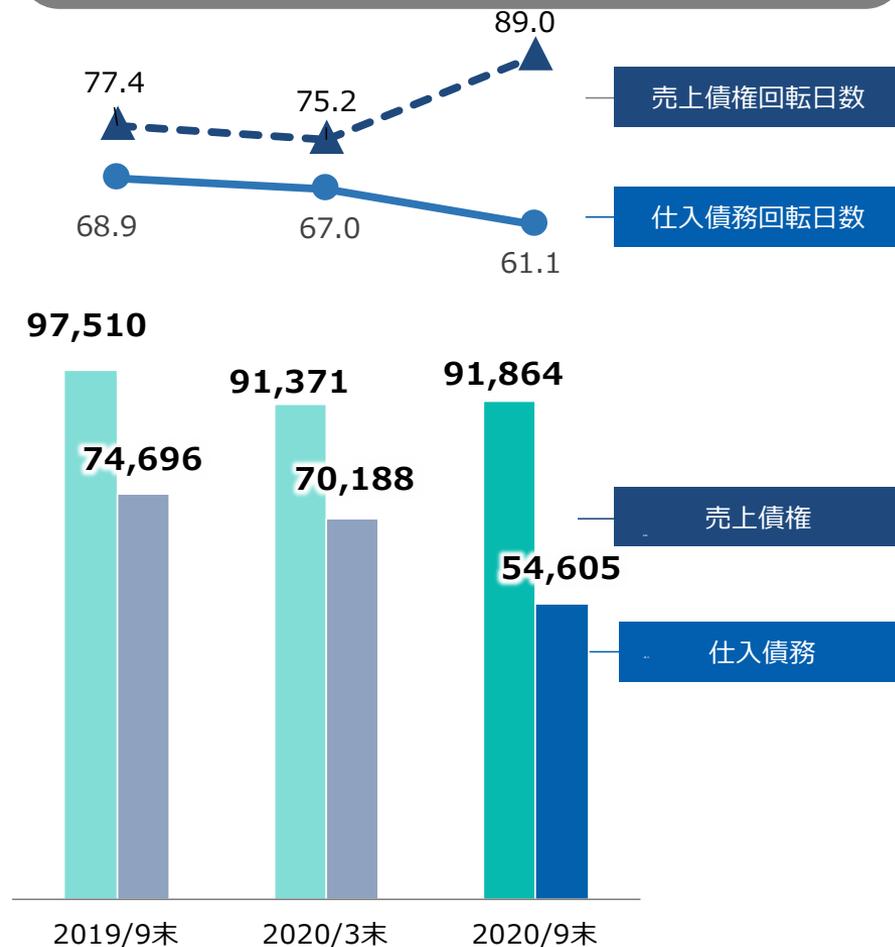
(単位：百万円、日)

棚卸資産



注：在庫回転日数 = 棚卸資産 ÷ 売上高 × 365 (9末は183)

売上債権・仕入債務



注：受取手形及び売掛金については、電子記録債権を含めた金額となっております。

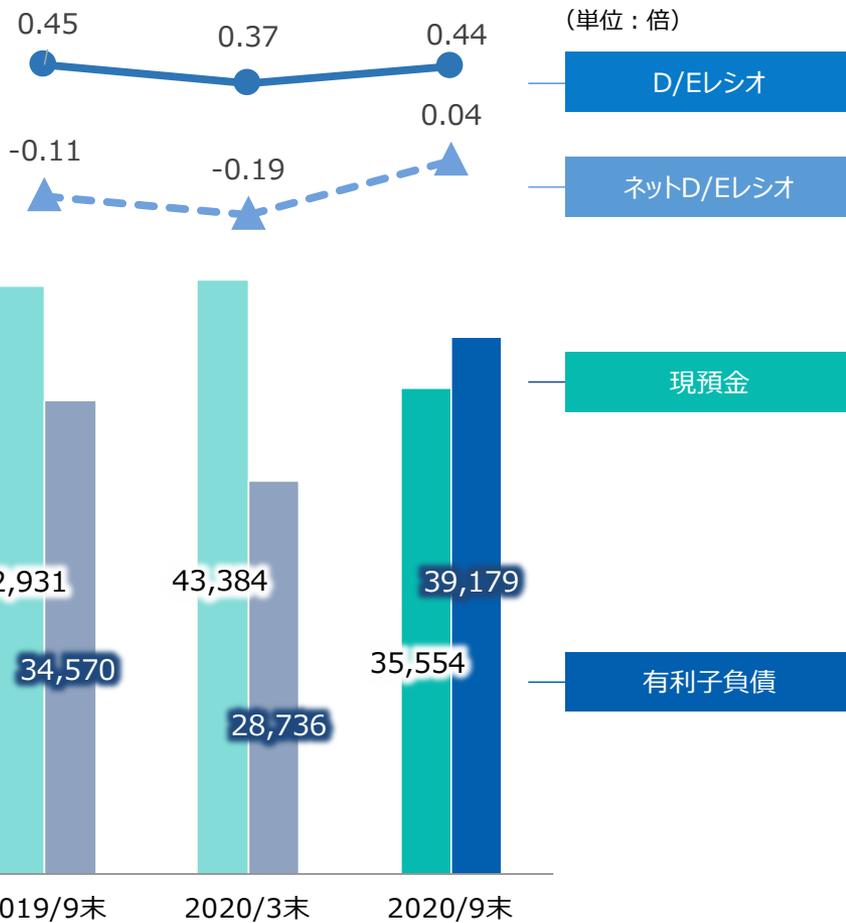
売上債権回転日数 = 受取手形及び売掛金 ÷ 売上高 × 365 (9末は183)

仕入債務回転日数 = 支払手形及び買掛金 ÷ 仕入高 × 365 (9末は183)

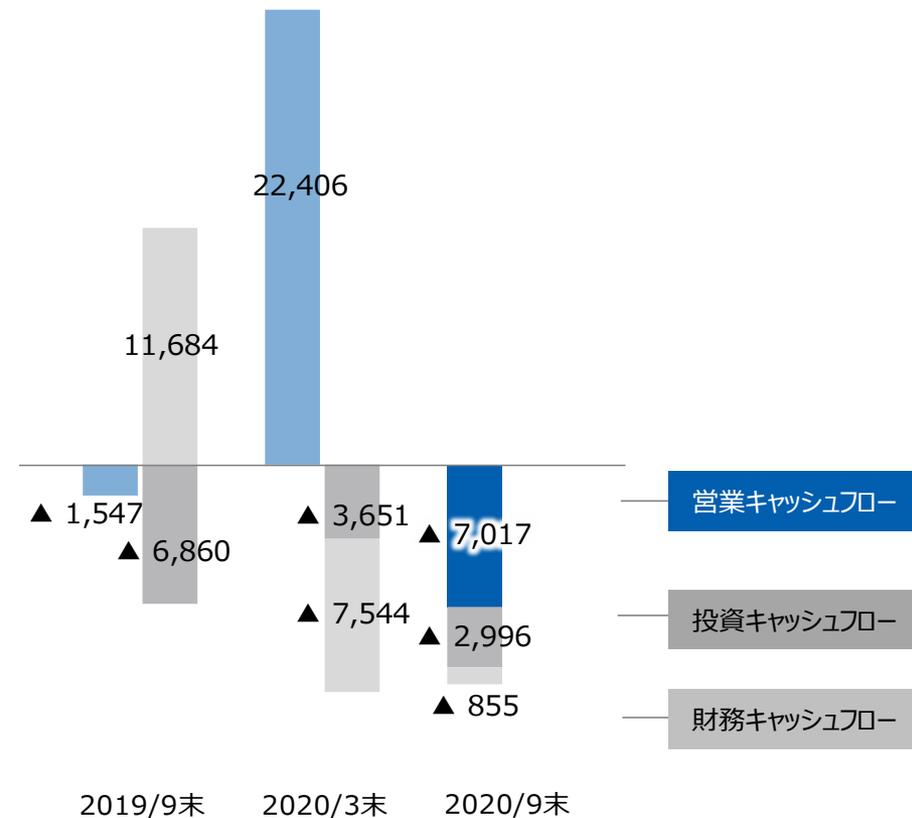
現預金・有利子負債/キャッシュフロー

(単位：百万円)

現預金・有利子負債



キャッシュフロー



注： D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本
 ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本

キャッシュフローに関する補足説明

エクセル子会社化、大口商権の商流変更ならびにコロナ影響などにより、営業キャッシュフローが一時的に支出増となるも、2021年3月期末には反転を見込む。

(単位：百万円)

営業活動による
キャッシュフロー

主な変動項目	2019/9期	2020/9期	
● 税引き前当期純利益	5,302	12,126	
● 負ののれん発生益	-	△7,963	…①
● 売上債権の増減額 (△は増加)	2,979	10,547	…②
● たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,784	1,835	…③
● 仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,095	△21,540	…④
● 未収入金の増減額 (△は増加)	△497	1,607	
営業活動によるキャッシュフロー	12,242	△7,017	

当期営業CFの
主な特殊要因

- ① 負ののれん発生益 → エクセル株式取得による負ののれん発生益の調整
- ② 売上債権の減少 → うちFEIの商流変更・コロナ影響等により、+9,138
- ③ たな卸資産の減少 → エクセル中国子会社の在庫販売が進み、棚卸資産が減少
- ④ 仕入債務の減少 → うちFEIの商流変更・コロナ影響等により、△13,851

2021年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

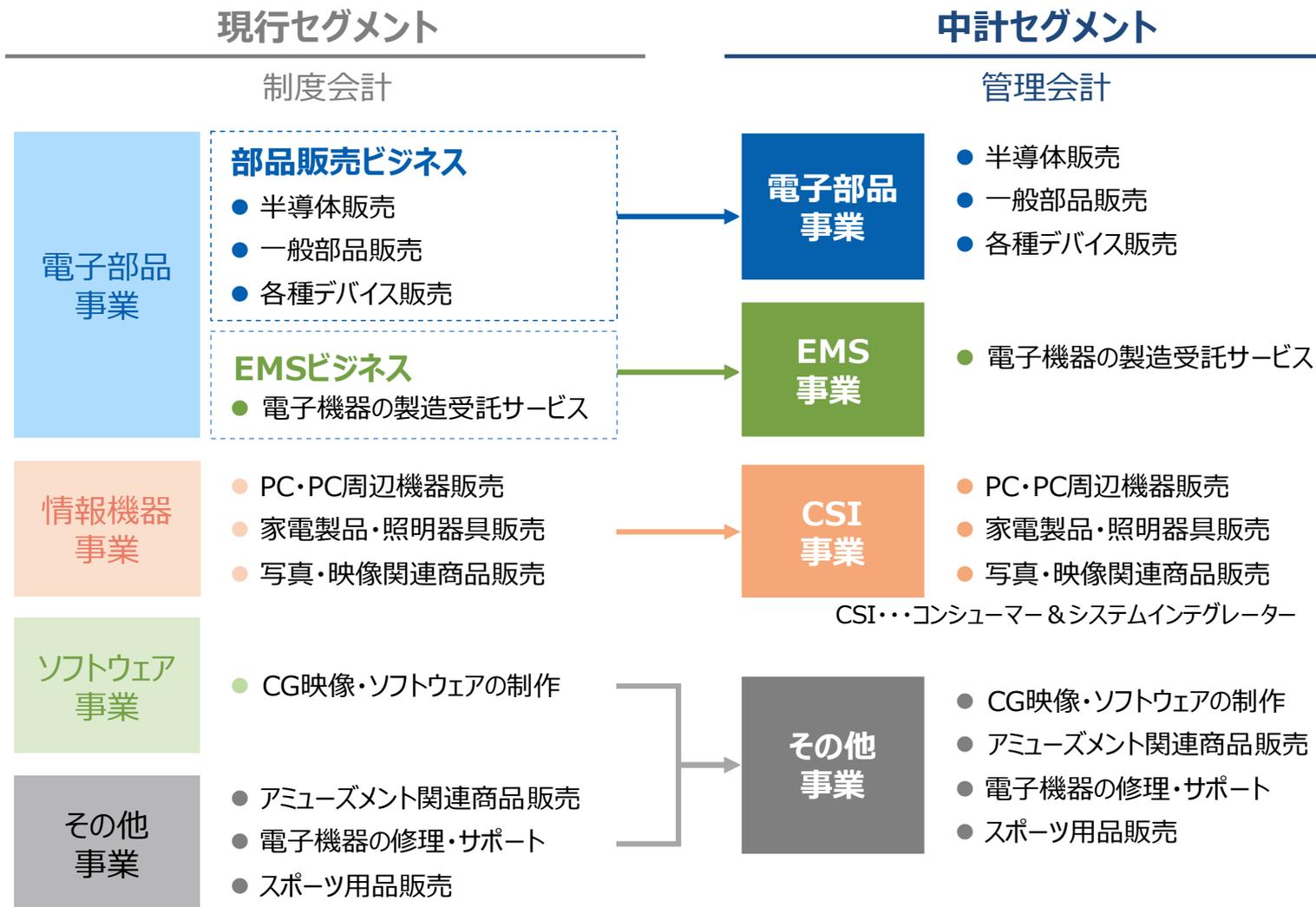
	2020/3期 実績		2021/3期 前回予想 (2020年8月6日発表)		2021/3期 今回修正予想		前回予想 との差異	前年比
売上高	443,615		400,000		410,000		2.5%	▲7.6%
営業利益	10,014	2.3%	5,000	1.3%	7,500	1.8%	50.0%	▲25.1%
経常利益	10,137	2.3%	4,500	1.1%	7,500	1.8%	66.7%	▲26.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,852	1.3%	10,000	2.5%	10,000	2.4%	—	70.9%
EPS	213.21		364.18		364.18		—	70.8%
ROE	7.6		11.8		11.8		—	+4.2pt

2021年3月期業績予想修正の考え方：前回予想からの変化

(単位：百万円)

	前回予想	修正	今回予想	
売上高	● 加賀電子	240,000	▲5,000	235,000
	● 富士通エレクトロニクス	160,000	▲35,000	125,000
	● エクセル	50,000		50,000
	● コロナ影響 (減収リスク)	▲50,000	(▲40,000)	
	合計	400,000	修正：+10,000	410,000
営業利益	● 加賀電子	7,500		8,000
	● 富士通エレクトロニクス	1,000		▲500
	● エクセル	0		0
	● コロナ影響 (減益リスク)	▲3,500	▲1,000	
	* 売上総利益減	▲5,000	▲4,000	
* 利益回復	+1,500	+3,000		
合計	5,000	修正：+2,500	7,500	
当期純利益	● 特別利益：負のれん益	8,000		7,963
	● 特別損失：構造改善、リスク等	▲1,500		▲3,000
	● 法人税等	▲1,500		▲2,500
	合計	10,000		10,000

制度会計としての現行セグメントでの継続開示と併せ、新中計に沿ったセグメントによる任意開示を行う



	電子部品事業	EMS事業	CSI事業	その他事業
加賀電子株式会社				
電子事業部	●	●	(●)	●
EMS事業部		●		
通信事業部	●	●	●	(●)
特機事業部	●	●	(●)	●
営業推進事業部	●			
主な国内グループ会社				
加賀テック株式会社	●	(●)	(●)	(●)
加賀デバイス株式会社	●	●	●	●
加賀ソルネット株式会社			●	
イー・ディー・デバイス株式会社	●			
加賀マイクロソリューション株式会社		●	(●)	●
株式会社デジタル・メディア・ラボ				●
加賀スポーツ株式会社				●
加賀アミューズメント株式会社				●
加賀テクノサービス株式会社			●	
富士通エレクトロニクス株式会社	●			
加賀EMS十和田株式会社		●		
株式会社エクセル	●			
主な海外グループ会社				
加賀沢山電子（蘇州）有限公司		●		
加賀電子（上海）有限公司	(●)	●		
港加賀電子（深圳）有限公司		●		
KAGA (H.K.) ELECTRONICS LIMITED		●		
KAGA DEVICES (H.K.) LIMITED	●			
KAGA (TAIWAN) ELECTRONICS CO., LTD	●	(●)		
KAGA ELECTRONICS (THAILAND) COMPANY LIMITED	(●)	●		
KAGA COMPONENTS (MALAYSIA) SDN.BHD.		●		
KAGA ELECTRONICS INDONESIA, PT	●	●		
KAGA ELECTRONICS (VIETNAM) CO., LTD.		●		
KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE LTD	●	(●)		(●)
KAGA ELECTRONICS (USA) INC.	●	●		
TAXAN MEXICO S.A. de C.V.		●		
KD TEC s.r.o.	●	●		

(単位：百万円)

		2020/3期 2Q実績		2021/3期 2Q実績		前年比
電子部品	売上高	156,803		117,287		▲25.2%
	セグメント利益	2,127	1.4%	851	0.7%	▲60.0%
EMS	売上高	46,945		42,940		▲8.5%
	セグメント利益	2,100	4.5%	2,265	5.3%	7.9%
CSI	売上高	19,968		23,192		16.1%
	セグメント利益	618	3.1%	1,160	5.0%	87.8%
その他	売上高	6,912		5,438		▲21.3%
	セグメント利益	316	4.6%	88	1.6%	▲72.2%
合計	売上高	230,630		188,859		▲18.1%
	セグメント利益	5,239	2.3%	4,434	2.3%	▲15.4%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

(単位：百万円)

		2020/3期 2Q実績		2021/3期 2Q実績		前年比
電子部品	売上高	84,698		67,547		▲20.2%
	セグメント利益	1,651	2.0%	807	1.2%	▲51.1%
EMS	売上高	22,425		23,120		3.1%
	セグメント利益	830	3.7%	1,181	5.1%	42.3%
CSI	売上高	9,842		10,654		8.2%
	セグメント利益	429	4.4%	577	5.4%	34.6%
その他	売上高	4,099		3,406		▲16.9%
	セグメント利益	430	10.5%	177	5.2%	▲58.9%
合計	売上高	121,066		104,729		▲13.5%
	セグメント利益	3,389	2.8%	2,778	2.7%	▲18.0%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

(単位：百万円)

		2020/3期 実績		2021/3期 予想		前年比
電子部品	売上高	292,905		264,000		▲9.9%
	セグメント利益	3,553	1.2%	2,000	0.8%	▲43.7%
EMS	売上高	93,340		85,000		▲8.9%
	セグメント利益	4,015	4.3%	3,000	3.5%	▲25.3%
CSI	売上高	43,466		50,000		15.0%
	セグメント利益	1,707	3.9%	2,300	4.6%	34.7%
その他	売上高	13,902		11,000		▲20.9%
	セグメント利益	623	4.5%	200	1.8%	▲67.9%
合計	売上高	443,615		410,000		▲7.6%
	セグメント利益	10,014	2.3%	7,500	1.8%	▲25.1%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

経営トピックス

加賀電子株式会社

代表取締役社長 門 良一

新型コロナウイルス感染拡大への対応状況

- 国内外ともに、政府および地方自治体の指導に従い、「テレワーク/時差通勤」等の安全対策を実施しながら、営業活動を継続。

営業拠点		4月	5月	6月	7月	8月	9月	感染者数
オフィス	加賀電子	29.4%	27.0%	42.4%	46.8%	37.3%	48.6%	1名
出社率	グループ会社	35.4%	30.3%	51.4%	55.8%	46.9%	54.1%	1名

- 国内では、政府および地方自治体の指導に従い、安全対策を実施しながら最小限の人数で操業を継続。海外では、ロックダウンに伴い、一部拠点にて操業休止

新型コロナウイルス感染拡大に伴う操業休止の状況

<海外拠点>	2月	3月	4月	5月	6月	7月-9月	感染者数
タイ・インドネシア・トルコ	操業休止なし						0
中国・湖北	2/1~3/15						0
中国・蘇州	2/1~2/9						0
中国・深圳	2/1~2/13						0
マレーシア		3/18~4/20					0
ベトナム			4/1~4/15				0
インド			3/25~5/31				0
チェコ			4/7~4/9				1名
メキシコ			4/1~5/30				2名

旭東電気のグループ会社化について

旭東電気の概要	名称	・ 旭東電気株式会社
	代表者	・ 代表取締役会長 俊成 伴伯（当社 取締役EMS事業部長） ・ 代表取締役社長 澤田 康博（旧旭東電気 代表取締役社長）
	所在地	・ 大阪市旭区新森6丁目2-1
	事業内容	・ 安全ブレーカー、漏電遮断器、直流開閉器製造事業 ・ 電子機器の受託製造（EMS）事業、等
買収のスキーム	<ul style="list-style-type: none">● 2020年4月28日：旭東電気、大阪地方裁判所に民事再生手続きを申し立て● 2020年8月31日：旭東電気と民事再生支援に関するスポンサー契約締結● 2020年11月2日：旭東電気を会社分割し、新たに設立された旭東電気の株式100%を取得、同日付で連結子会社化	
買収の狙い	<ul style="list-style-type: none">● 当社の車載向けEMS顧客に対する製品供給継続● 製造業の国内生産回帰に対応した西日本地区におけるEMS拠点構築● 同社が持つ“オンリーワン製品*”の競争力強化によるグループ収益貢献 <p>* 漏電保護プラグ、漏電保護リレー、小型漏電遮断器、直流開閉器等で国内シェア75～100%保有</p>	
業績への影響	<ul style="list-style-type: none">● 2021年3月期業績への影響は軽微と見込む	

PMIの進捗状況：富士通エレクトロニクス

<p>EMSの 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 車載機器メーカー、電機メーカーなど5社から開発・試作・量産を受注 84社/新規訪問 ➡ 40社/商談継続中 <p><注目> 上半期の活動で既に昨年度並みの実績。初の海外量産案件も獲得。</p>	
<p>クロスセルの 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 加賀電子が持つ有力商材を大手優良顧客へ売り込み強化 <p><注目> 情報機器、インフラ機器、家電など様々な分野で大型商談を展開中</p>	
<p>新規商材の 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 半導体、電子部品、ユニットモジュールなど幅広い分野で商材・サービスを拡大 <p><注目> 新規取扱い商材79社（累計）、今期売上見込み147億円（前期104億円）</p>	
<p>営業拠点の 統廃合</p>	<p>国内</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● FEI大阪オフィスを加賀電子関西営業所へ移転 [20年12月] * 既に、名古屋、広島、新潟は統合完了
	<p>海外</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 加賀電子米国販社をFEI米国販社に統合 [21年春目途] ● 加賀電子及びFEIの韓国販社についても見直し中 [21年春目途]
<p>※略称：富士通エレクトロニクス→FEI</p>		
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2020年12月29日付で、社名を加賀FEI株式会社に変更 	

PMIの進捗状況：加賀EMS十和田（旧 十和田パイオニア）

新規顧客の獲得 ①加賀電子との協業	車載	<ul style="list-style-type: none">・ 日系Tier1向け電装基板の量産開始 [20年7月～]・ 日系Tier1向け電装基板の量産受注 [21年11月～]
	OA機器	<ul style="list-style-type: none">・ 日系大手事務機メーカー向け電装基板の量産受注 [21年以降]
	電機	<ul style="list-style-type: none">・ 日系大手電機メーカーから「認定工場」資格を取得
新規顧客の獲得 ②独自開拓	医療機器	<ul style="list-style-type: none">・ 日系医療機器メーカー向けセンサの製造受託 [20年12月～]・ 日系医療機器メーカー向けユニットの製造受託 [22年5月～]
EMSマザー工場としての取り組み		<ul style="list-style-type: none">● 自社開発の生産IT化ツール（管理ソフト、設備）をグループ内生産拠点へ展開● 生産に関する標準化ノウハウの共有● 海外生産拠点への支援、海外赴任人材の展開● 品質管理、生産技術人材の育成加速● モノづくり視点でのIT化推進（品質管理、資材、工場総務、経理）

PMIの進捗状況：エクセル

新規事業の 取り組み	<ul style="list-style-type: none">● カルテック社製光触媒除菌脱臭機*の拡販● 中国アルファバス社製EVバスの拡販 <p><注目>加賀電子+エクセルが有するネットワークを活用し、本格展開中 ※ EVバスは、上期2台受注確定</p>				
クロスセルの 取り組み	<ul style="list-style-type: none">● 加賀電子が持つ商材を大手顧客等へ売り込み強化 <p><注目>エクセル社内に「グループシナジー推進室」を新設し連携強化 更に、「特販営業部」を新設し、電子部品以外の商材の取り扱い拡充中</p>				
営業拠点の 統廃合	<table><tr><td data-bbox="407 758 600 1011">国内</td><td data-bbox="600 758 1891 1011"><ul style="list-style-type: none">・ EXLがADSを吸収合併 [20年10月]・ EXL本社を加賀電子本社（秋葉原）に移転 [21年春目途]・ EXL名古屋支店を加賀電子名古屋営業所に移転 [21年春目途]・ 他の国内拠点についても見直し検討中</td></tr><tr><td data-bbox="407 1011 600 1229">海外</td><td data-bbox="600 1011 1891 1229"><ul style="list-style-type: none">・ EXLシンガポールを清算、加賀シンガポールへ事業移管 [20年冬目途]・ ADS香港を清算、EXL香港へ事業移管 [20年冬目途]・ 他の海外拠点についても見直し検討中</td></tr></table>	国内	<ul style="list-style-type: none">・ EXLがADSを吸収合併 [20年10月]・ EXL本社を加賀電子本社（秋葉原）に移転 [21年春目途]・ EXL名古屋支店を加賀電子名古屋営業所に移転 [21年春目途]・ 他の国内拠点についても見直し検討中	海外	<ul style="list-style-type: none">・ EXLシンガポールを清算、加賀シンガポールへ事業移管 [20年冬目途]・ ADS香港を清算、EXL香港へ事業移管 [20年冬目途]・ 他の海外拠点についても見直し検討中
国内	<ul style="list-style-type: none">・ EXLがADSを吸収合併 [20年10月]・ EXL本社を加賀電子本社（秋葉原）に移転 [21年春目途]・ EXL名古屋支店を加賀電子名古屋営業所に移転 [21年春目途]・ 他の国内拠点についても見直し検討中				
海外	<ul style="list-style-type: none">・ EXLシンガポールを清算、加賀シンガポールへ事業移管 [20年冬目途]・ ADS香港を清算、EXL香港へ事業移管 [20年冬目途]・ 他の海外拠点についても見直し検討中				

※略称：エクセル→EXL Advanced Display Solutions（子会社）→ADS

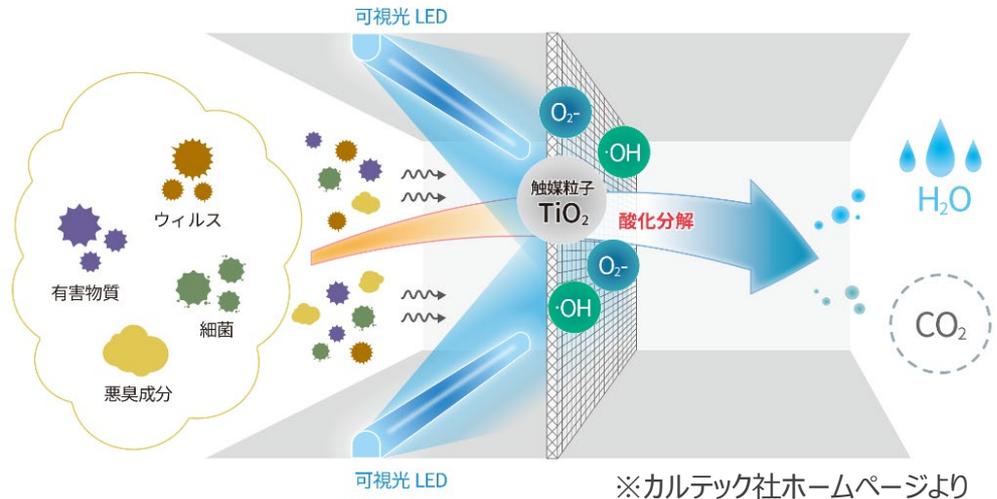
カルテック社製光触媒除菌脱臭機について



壁掛けタイプ



首掛けタイプ



カルテック社について

- 元シャープの技術者が2018年に立ち上げたベンチャー企業
- 独自開発の光触媒技術を搭載した除菌脱臭機を手がける
- エクセルが同社に出資している関係を発展させて、当社グループ全体で販売及び部品調達において協業することに基本合意

カルテック社の光触媒技術について

- 酸化チタンを独自技術でコーティングした光触媒フィルタに可視光LEDを照射することで、吸着したウイルスや細菌、有害物質等を水と二酸化炭素に分解する
- 理化学研究所/日本大学医学部が共同で機能評価した結果、新型コロナウイルスを20分で99.9%不活化することが実証された

サステナビリティへの取り組み

新規事業

■ ヘリコプタービジネス

官公庁向け防災用途



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を

■ 医療機器ビジネス

CTスキャナー



3 すべての人に健康と福祉を



5 ジェンダー平等を実現しよう

外部協業

■ ベンチャー投資

社会課題解決



17 パートナシップで目標を達成しよう



■ 産学連携

省エネデバイス開発



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



17 パートナシップで目標を達成しよう



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

持続可能な
社会を目指す

従来事業

■ 部品ビジネス

SDGs用途開拓奨励



■ EMSビジネス

SDGs用途開拓奨励



■ 完成品ビジネス

教育機関向けPC販売



4 質の高い教育をみんなに

■ 再生ビジネス

PCリユース・リサイクル



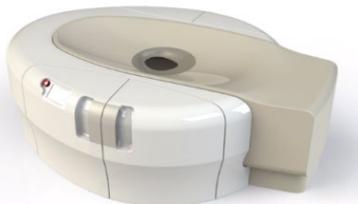
12 つくる責任 つかう責任

サステナビリティへの取り組み

医療機器 × QOL



移動式CTスキャナー



乳がんCTスキャナー

3 すべての人に
健康と福祉を



障がい者支援 × ウェアラブル端末



オンテナ (Antenna)



4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



ケアサポートシステム

高齢化社会 × 見守りシステム



グリーンキャパシタ

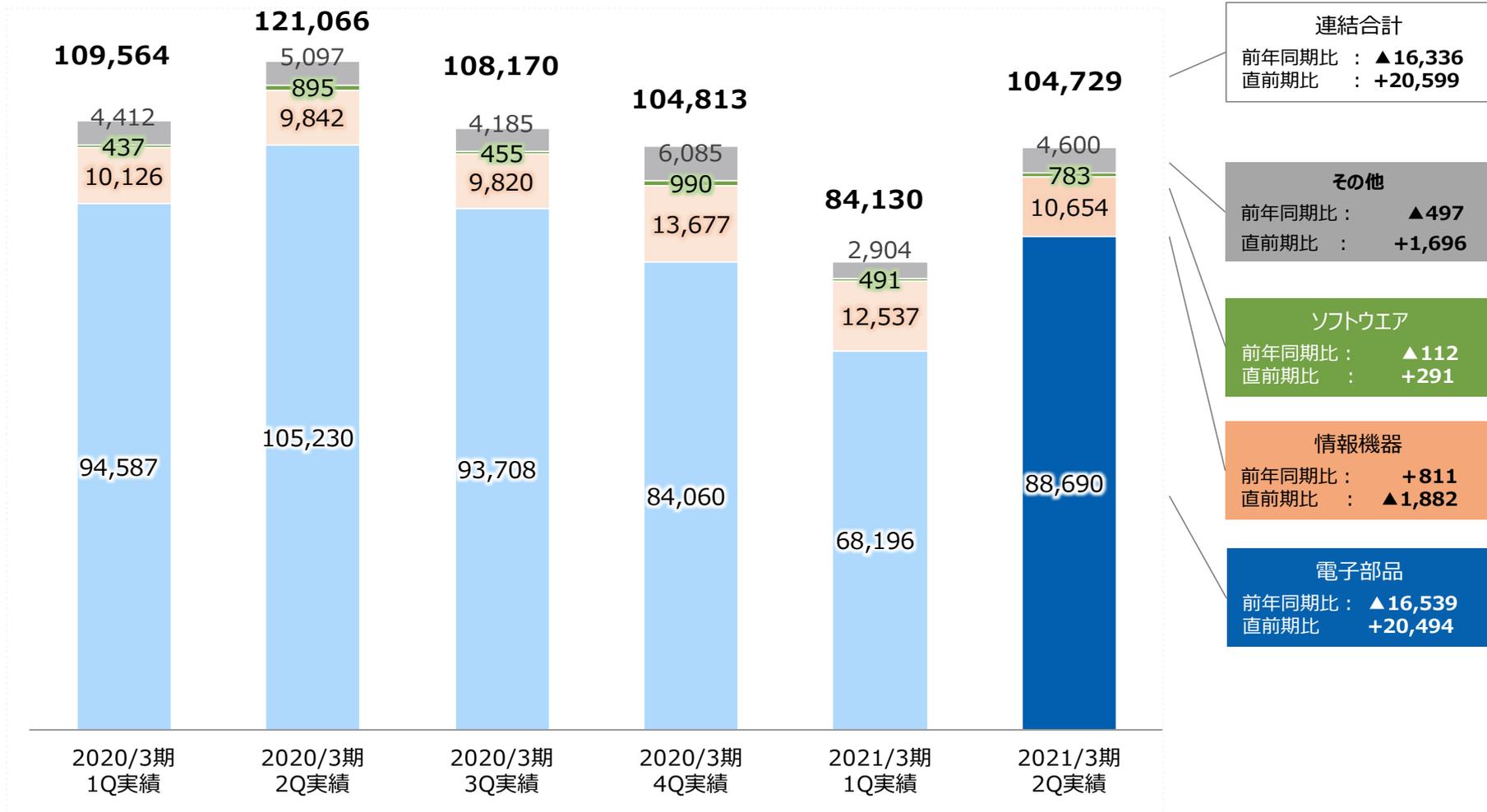
ブレイクスルー × 次世代蓄電デバイス

參考資料

2021年3月期第2四半期：セグメント別売上高四半期推移

(単位：百万円)

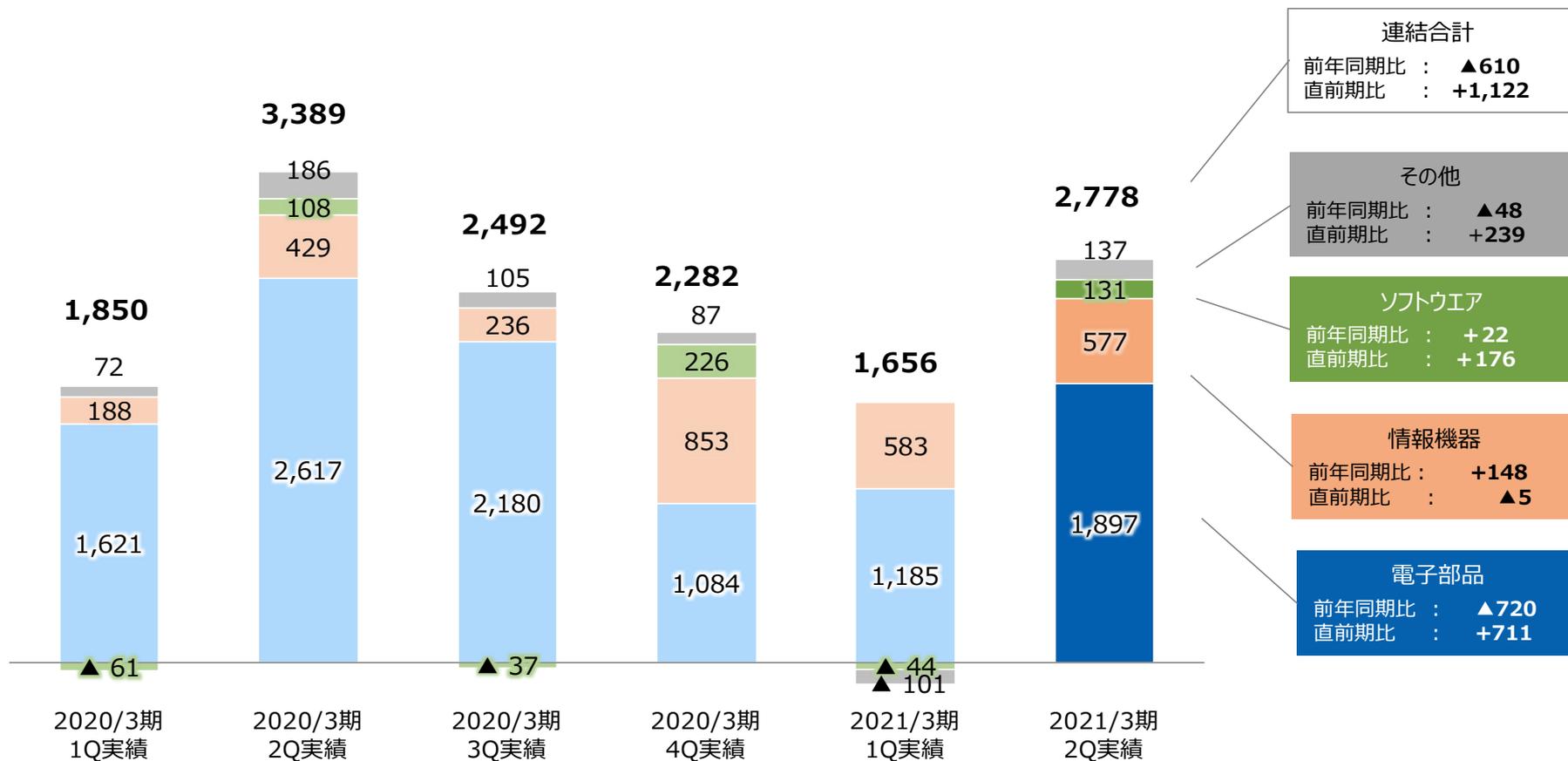
売上高



2021年3月期第2四半期：セグメント別営業利益四半期推移

(単位：百万円)

セグメント利益・営業利益



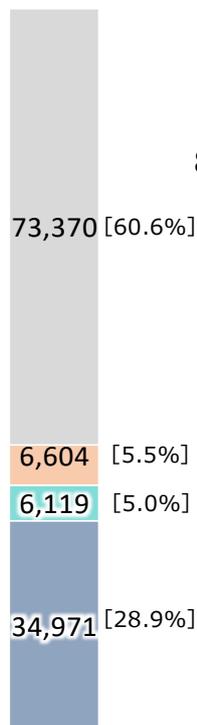
注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、連結合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

2021年3月期第2四半期：地域別売上高四半期推移

(単位：百万円)

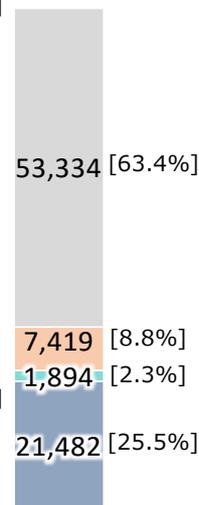
売上高

121,066



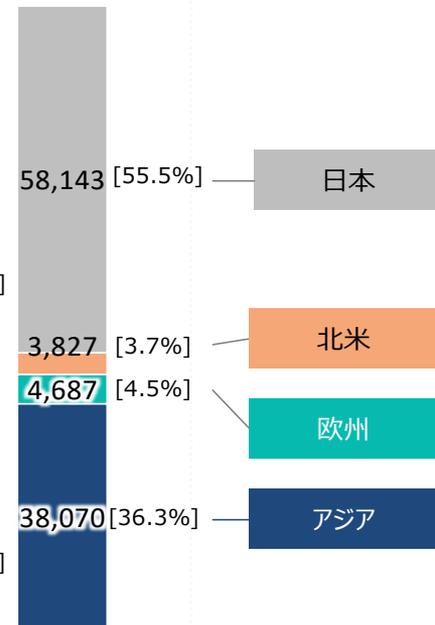
2020/3期
2Q実績
(前年同期)

84,130



2021/3期
1Q実績
(直前期)

104,729



2021/3期
2Q実績
(当期)

前年比

● 日本	▶	▲ 15,227百万円	20.8%減
● 北米	▶	▲ 2,777百万円	42.1%減
● 欧州	▶	▲ 1,431百万円	23.4%減
● アジア	▶	+ 3,099百万円	8.9%増

直前期比

● 日本	▶	+ 4,809百万円	9.0%増
● 北米	▶	▲ 3,591百万円	48.4%減
● 欧州	▶	+ 2,793百万円	147.5%増
● アジア	▶	+ 16,587百万円	77.2%増

為替レート/為替感応度

	2020/3期 2Q実績 (円)	2021/3期 2Q実績 (円)	1%変動による影響額 (百万円)		2021/3期 前提 (円)
			売上高	経常利益	
米国ドル	108.63	106.92	649	19	105.50
タイバーツ	3.49	3.38	90	2	3.50
人民元	16.20	15.39	524	3	15.00
香港ドル	13.86	13.80	482	2	13.50



.....

.....

.....

.....

.....

.....



.....

.....

.....

.....

.....

.....



.....

.....

.....

.....

.....

.....



.....

.....

.....

.....

.....

.....

『すべてはお客様のために』



問合せ先：IR・広報室

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7133

E-mail : webmaster@taxan.co.jp

<https://www.taxan.co.jp>

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を四捨五入

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入